

# 今後の検討の進め方

今後の検討の進め方	・ ・ ・ ・ ・	28
令和2年度の進め方	・ ・ ・ ・ ・	29

○地域高規格道路に準じた整備案について、設計条件等を整理し、詳細なルート、構造の検討を進める。

○新たに計画されるトンネルは、600m以上の高土被りであり、高圧大量湧水の発生や断層破碎帯での地山の崩落等による、支保工の大規模な変状の発生が想定される。また両坑口部は低土被りで国道直下を通過するため、路面陥没等の発生も懸念される。以上のことから、今後は、まず現地測量等を行い、坑口付近を含む周辺の地形を踏査し、現地の状況の把握等を行い、その後、水文調査（沢の流量変動の把握、トンネル掘削時の湧水予測、水利用状況の把握等）、地質調査（機械ボーリング、物理探査）を実施して、課題をより具体化し、対応策を検討することとする。

○また、地元説明会の開催など地元の方々への周知を図りながら検討を進める。